

令和8年度 中3「高志学」論文発表会

令和8年3月11日（水）、中学3年生による探究学習「高志学」の論文発表会を行いました。本校の「高志学」では、1年生でふるさと福井への理解を深め、2年生からは社会課題に対する仮説を立て、3年生でその妥当性を検証するというステップを踏んでいます。今回は、その集大成として執筆した8,000字の論文をもとに10分間のプレゼンテーションを行いました。

これまでは各ゼミの代表者による発表でしたが、今回から「3年生全員が発表する」という新たな形式に変更するとともに、高校1年生を聴衆として迎えました。中学生が高校生の課題研究発表会に参加するだけでなく、中学生の発表を高校生に聞いてもらうことで、高校での学びへスムーズにつなげるきっかけとすることが狙いです。

発表テーマは「ナッジ理論を用いた外食産業の食品ロス解決」「いちほまれの米粉マカロンによるブランド向上」「演劇教育による対話力の育成」「子ども向け英語おはなし会の効果」「福井市へのデマンド型交通導入」「ご当地インクによる20代女性への認知度向上」など、多岐にわたるもので、一人ひとりが自分の考えをしっかりとプレゼンすることができました。

プレゼンテーション後には、中学1・2年生だけでなく、高校1年生による鋭い質問もありましたが、生徒たちは堂々と回答していました。3年間の成長を感じさせる、非常に充実した発表会となりました。

